

慢性中耳炎に有効

耳・鼻・のどの手術



「耳に違和感があれば早く受診を」と勧める福島主任部長（県立広島病院で）

病院の 実力

*広島編87

福島典之主任部長に聞く

県立広島病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

鼓膜や耳小骨を修復し、聴力を回復するのが鼓室形成術。慢性中耳炎の有効な治療法だが、県立広島病院（広島市南区）耳鼻咽喉科・頭頸部外科の福島典之主任部長（60）は「成功率は100%ではない。聴力を回復するには早期発見が大切」と話す。
（聞き手・松田祐哉）

は乳幼児から7、8歳ぐら
いまで。慢性中耳炎は子ど
もの頃から急性中耳炎を何
回も繰り返すこととなりま
す。鼓膜に穴が開いても、
小さい穴なら自然に閉じま
すが、何回も繰り返すと永
続的な穿孔せんこうになり、治りき
らないまま炎症を反復する
と、奥の耳小骨が壊れてし
まうこともあります。

また、慢性中耳炎の中で
も真珠腫性中耳炎は、中耳
で皮膚が真珠のような形に
増殖して炎症を起こしま
す。先天性と後天性があり、
原因ははっきりしていません。
鼓膜の一部が奥に入り
込み、アカのようなものが
たまり、耳小骨を壊します。
真珠腫が細菌に感染すると
三半規管に影響してめまい
がしたり、顔面神経麻痺や
髄膜炎などの合併症を引き
起こして重症化したりする
ことがあります。

鼓室形成術は、この慢性
中耳炎が主な対象です。手
術の目的は、耳から膿うみが出
る耳漏を止めることと聴力

を回復すること。手術によ
って耳漏の方はほぼ100
%止められます。当院では
年間180件ほど、この手
術をしています。

手術では、耳の後ろを切
開し、側頭骨などを削って
鼓室を形成します。鼓膜に
穴が開いている場合は、耳
の骨膜や筋膜から鼓膜を再
生します。顕微鏡を使う繊
細な手術ですが、全身麻酔
で1時間から1時間半くら
いで終わります。鼓膜が再
生するまで10日前後の入院
が必要です。

ただし、真珠腫性中耳炎
は、真珠腫が少しくても残る
と次第に大きくなって再発
します。そのため、一般的
には段階手術といって1回
目から約1年後に2回目の
手術をします。この手術時、
真珠腫がないことを確認
し、残っていれば取り除い
て鼓室を形成します。2回
に分ける人が3分の2、3
分の1くらいは1回の手術
で終わります。

病状の進み具合にもより
ますが、聴力が回復するの
は全体の8割ほど。聴力を
十分回復させるには、やは
り早期発見が肝心です。顕
微鏡やファイバースコープ
を使う検査も充実してきま
した。聞こえが悪いなど感
じたり、耳に痛みがあった
りするときは、早めに受診
することが大切です。

病院の実力 「耳・鼻・のどの手術」

医療機関別2014年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	鼓室形成術(件)	鼻中隔矯正術(件)	アデノイド切除術と口蓋扁桃摘出術の合計(件)
鳥取県			
鳥取大	49	87	219
山陰労災※	12	10	60
県立中央	6	16	63
島根県			
島根大	15	3	26
岡山県			
倉敷中央	100	34	164
岡山大	79	97	19
川崎医大※	29	86	121
岡山赤十字	20	19	95
川崎医大川崎	6	11	22
岡山済生会総合※	1	20	79
広島県			
県立広島	161	73	340
市立広島市民	87	32	114
広島大	25	35	128
福山市民	15	65	151
広島赤十字・原爆	14	32	172
市立三次中央	10	12	114
興生総合	10	12	89
国・呉医療セ	6	9	44
マツダ	2	14	62
広島市立安佐市民	1	28	60
J A尾道総合	1	1	107
中電	0	18	27
J A広島総合	0	8	88
山口県			
山口大	48	56	61
地・徳山中央	18	32	159
下関市立市民	16	3	65
国・岩国医療セ	14	23	105
県立総合医療セ	7	26	102

「国・」は国立病院機構。「地・」は地域医療機能推進機構。「セ」はセンター。※「山陰労災」「川崎医大」「岡山済生会総合」は2013年実績。

今回の「病院の実力」は耳・鼻・のどの手術。一覧表には、耳の鼓室形成術件数、鼻の鼻中隔矯正術件数、のどのアデノイド切除術と口蓋扁桃摘出術の合計件数を掲載した。

鼓膜や耳小骨を修復

鼓室形成術は代表的な耳の手術。細菌感染による慢性中耳炎や、鼓膜近くの皮膚組織が増殖する真珠腫性中耳炎などに対して行われる。中耳の炎症が長引くと鼓膜や音の振動を伝える骨

(耳小骨)が傷み、聴力低下を引き起こす。鼓室形成術では、炎症で傷んだ組織を取り除き、鼓膜や耳小骨を修復し、聴力を回復させる。鼻中隔矯正術は、左右の鼻の穴を仕切る骨や軟骨の

壁「鼻中隔」の曲がりや直す。鼻中隔の曲がりや成長過程で大きくなり、鼻づまりなどの症状が出ると「鼻中隔湾曲症」と呼ばれ、矯正術の対象になりうる。

れや炎症がひどい場合は切除する。アデノイドは、口蓋垂の後ろ上にあるリンパ組織で、肥大すると鼻づまりやいびきの原因になる。口蓋扁桃は、口蓋垂の横にあるリンパ組織で、腫れると、のどの痛みやかぜの原因になるほか、炎症が続くと腎臓などに悪影響が出る場合もある。

口や鼻の奥にあるリンパ組織は、子どもの時に大きくなり、外から入ってくる細菌やウイルスに対する抵抗力として機能するが、腫

る場合もある。